

# 中津市 三郎迫池ハザードマップ

## ■ため池ハザードマップについて

三郎迫池ハザードマップは、地震や大雨等により決壊した場合に想定される浸水の範囲、避難経路、緊急連絡先等の情報を一紙の地図で示したもので、減災のために利用されるものです。

- ・避難所は中津市が指定する風水害指定緊急避難所及び風水害指定避難所を表示しています。
- ・緊急を要する場合には、けがれ危険箇所以外の 高台に一時的に避難してください。
- ・到達時間については解析結果時間であるため、決壊パターンによっては早まる可能性があります。
- ・浸水深、浸水範囲については、実際の深さ、範囲と異なることがあります。地図に示した範囲以外でも河川の氾濫により浸水する可能性があります。

## ■中津市から提供される避難情報について

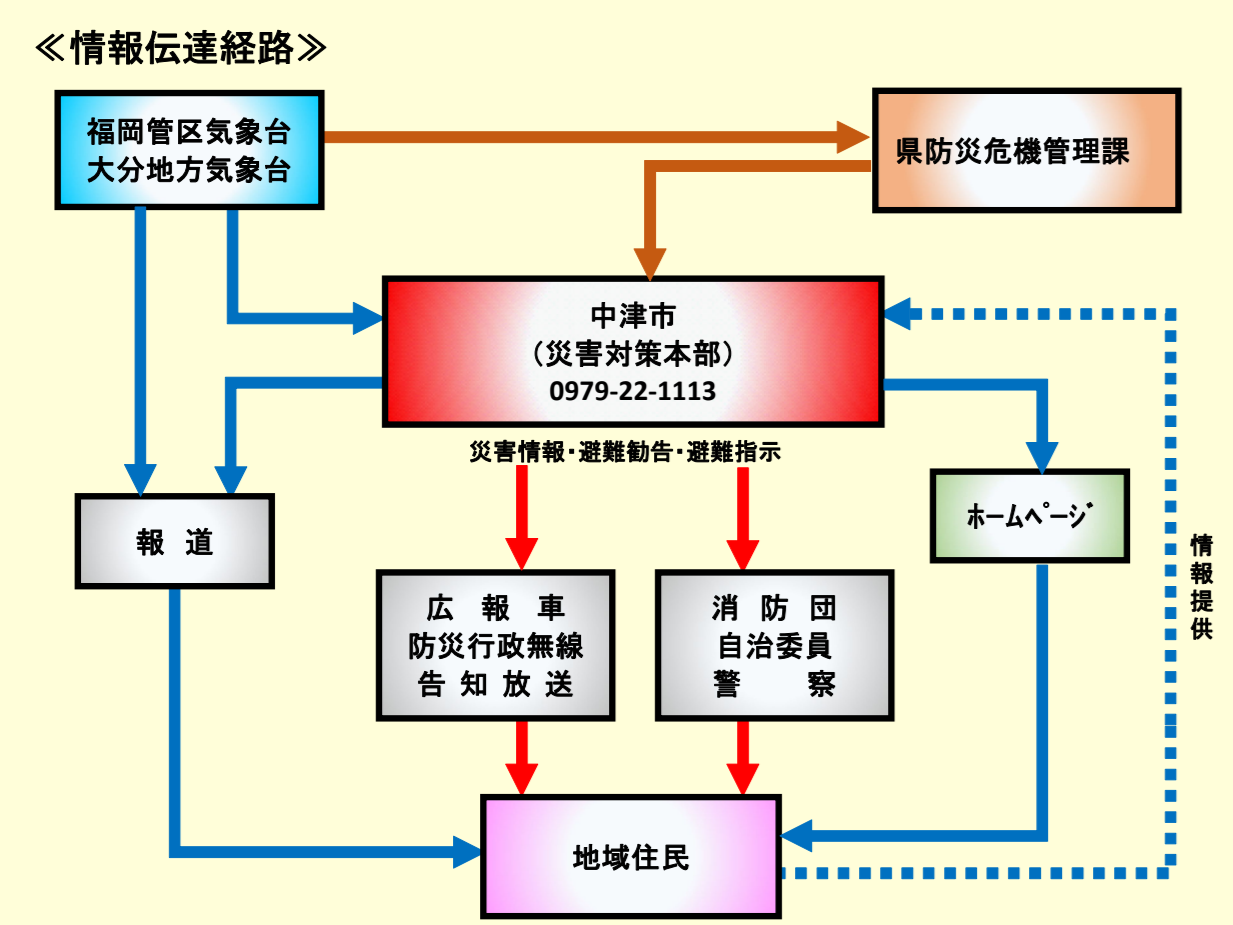
中津市では、次に示す通り、災害の発生等により住民の生命・身体に危険が及ぶと判断される場合には避難勧告、避難指示を発令します。

- (1)大雨、暴風、洪水の警報が発令され、避難を要すると判断される時。
- (2)河川が警戒水位又は特別警戒水位を突破し、なお水位が上昇するおそれがある時。
- (3)土砂災害警戒情報が発表され、山崩れやがけ崩れによる危険が迫っていると認められる時。
- (4)津波警報が発表された時。
- (5)その他の種別の状況から人命保護上必要と認められる時。

【風水害時の避難の動き・指示の基準】

前日までの降雨がない場合	当日の雨量が150mmを超え、特報雨量30mm程度の強い雨が降る時
前日までの連続雨量が40mmから100mm	当日の雨量が100mmを超え、特報雨量30mm程度の強い雨が降る時
前日までの連続雨量が100mm以上あった場合	当日の雨量が90mmを超え、特報雨量30mm程度の強い雨が降る時

・土石流発生監視装置の各観測地点の実際の雨量が警戒基準雨量、避難基準雨量を超えたとき



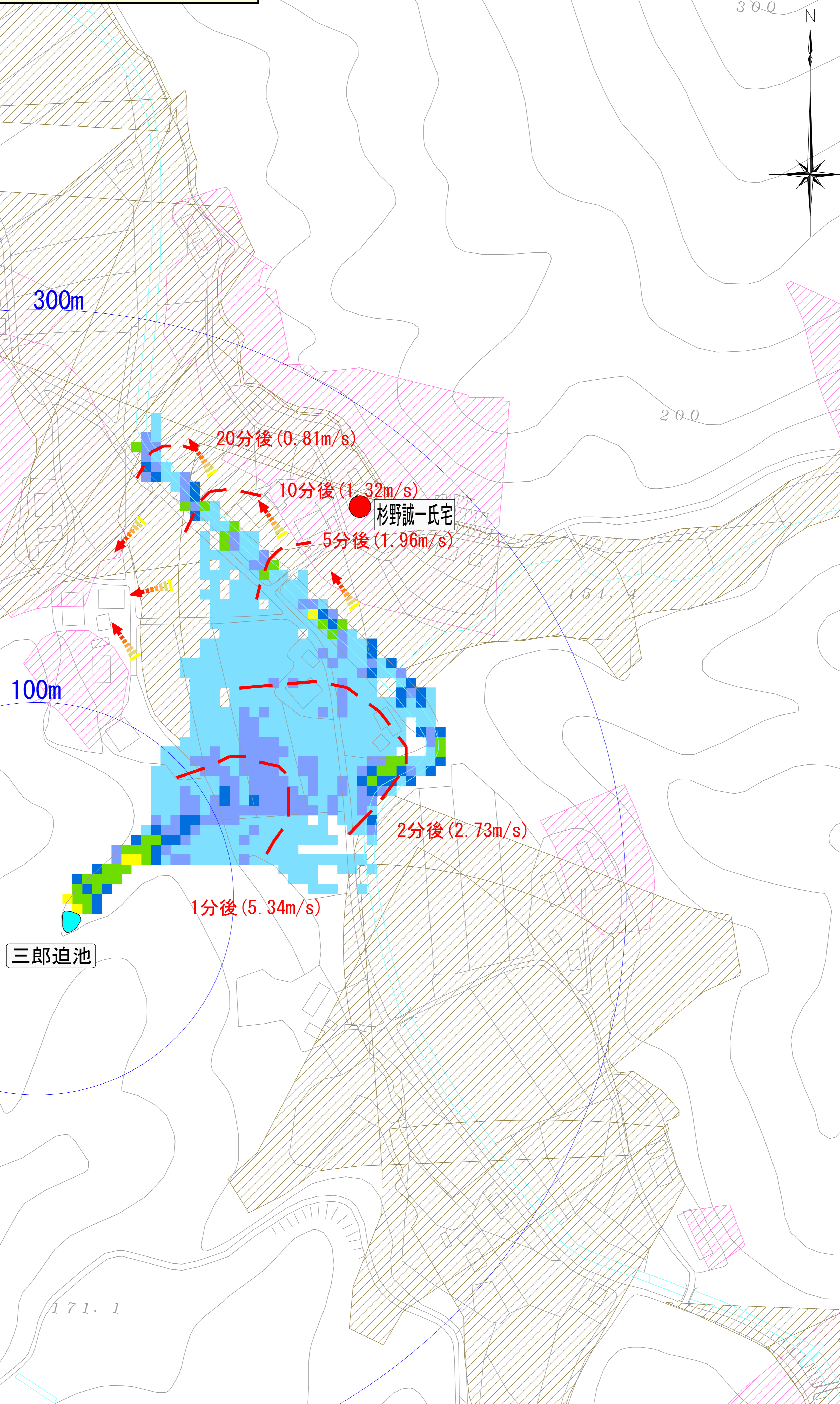
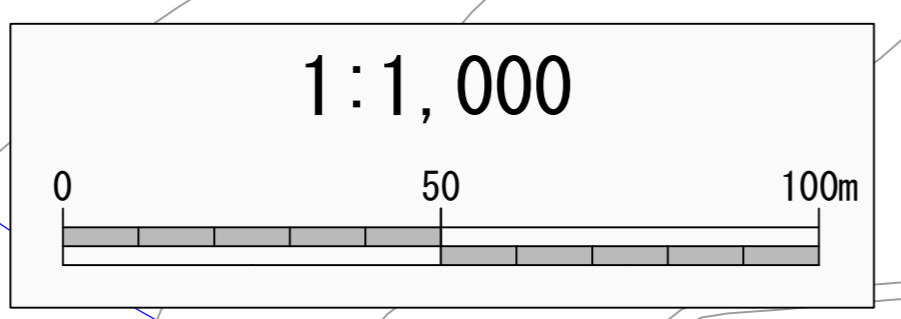
■緊急連絡先について

警察 110 消防 119

中津市役所 0979-22-1113  
 中津市本耶馬溪支所 0979-52-2211  
 中津市消防本部 0979-54-2100  
 中津警察署 0979-22-2131

施設名	三郎迫池
所在地	中津市本耶馬溪町西屋形
緯度	北緯 33° 27' 55.2"
経度	東経 131° 13' 35.4"
所有者	山国川水系
水系	屋形川
河川名	農業用水
目的	アースダム (均一型)
型式	堤高 (m) 4.5m
	堤長 (m) 16.0m
	総貯水量 (m3) 1,000m3
改修年	-
流域面積 (km2)	0.03km2
かんがい受益面積 (ha)	1.0ha
かんがい戸数 (戸)	7戸

＜氾濫解析手法＞  
 解析モデル：二次元不定流モデル  
 流出量 コスタの経験式(簡易氾濫方式)  
 $Q_{max} = 325 (HV)^{1/2} H$ : ダム高 (m) V: ため池貯水量 (10m3)  
 $Q_{max} = 325 (4.5 \times 0.001)^{1/2} = 33.59m3/s$



### ■三郎迫池非常時の対応について

＜地震時＞  
**震度5弱以上の地震発生時には速やかに目視による外観を点検**  
 ため池管理者による点検  
 ①緊急点検(24時間以内、速やかに) ... 点検結果の報告 → 中津市耕地利課に連絡  
 ②継続点検(1週間後) ... 異常の発見 → 中津市役所耕地利課に連絡

大分県北部振興局 0978-32-1170  
 中津市耕地利課 0979-52-9052  
 中津市本耶馬溪支所 0979-52-2211  
 (緊急点検) ○池水利組合

＜降雨時＞  
**気象警報(大雨、洪水)が発令され解除後**ため池施設の変状について点検を実施  
 ため池管理者による点検 ... 異常の発見 → 中津市役所耕地利課に連絡

### 三郎迫池災害時避難場所(常設)

名称	所在地	電話番号
やかた田舎の学校	中津市本耶馬溪町東屋形510	52-3115

### 三郎迫池災害時臨時避難場所

名称	所在地	電話番号
屋形下地区集会所	中津市本耶馬溪町東屋形618	-

### 三郎迫池地域避難場所

名称	所在地	電話番号
杉野誠一氏宅	中津市本耶馬溪町東屋形	52-3132

### 凡例

最大浸水深	5.0m以上	■
	3.0m以上～5.0m未満	■
	2.0m以上～3.0m未満	■
	1.0m以上～2.0m未満	■
	0.5m以上～1.0m未満	■
	0.2m以上～0.5m未満	■
	0.2m未満	■

[浸水の目安]

洪水到達時間	→
指定緊急避難場所	■
指定避難場所	■
地域の避難場所	●
避難方向	→
がけ崩れ危険箇所	■
土石流危険箇所	■